

あっち向いてる人もこっちを向く!



**好感度&注目度120%の話方**  
話し方ひとつで好感度と注目度は変わります!第一印象・スピーチスキル・説得力をアップさせ、あなたにあった魅力的な話し方を伝授します!笑顔の要素を交えながら伝えたいことを伝える!そのコツを知りたい方は是非ご参加ください。

**講師:** 細野 裕 (元中学校校長、キャリア教育アドバイザー、駄洒落栖人)  
**日時:** 9月20日(木) 10:00~11:30  
**場所:** 市民交流センター第3・4会議室  
**対象:** 市民活動団体、市民活動に関心のある方  
**定員:** 50人  
**申・問:** 9月19日(水)までに電話、FAX、Eメール又は直接市民協働課へ  
※託児(先着5人)、要約筆記、手話通訳希望者は9月7日(金)までにお申し込み下さい。

※開館時間は、9時~21時です。

		プール専用使用コース		交流センター
日	曜日	10~12時	13~15時	会議室関連
1	土		2コース	10月分先着予約開始
2	日			
3	月		2コース	
4	火	休館日		
5	水	逗子小授業 入場不可 (9~13時)		11月分抽選申込受付期間
6	木		2コース	
7	金			
8	土		2コース	
9	日			
10	月	逗子小授業 入場不可 (9~13時)	2コース	
11	火		2コース	
12	水	逗子小授業 入場不可 (9~13時)		
13	木		2コース	
14	金			
15	土	臨時休館(9時~15時)		
16	日			
17	月		2コース	
18	火	休館日		
19	水			
20	木		2コース	11月分抽選結果発表
21	金			
22	土		2コース	当選確定手続き期間
23	日			
24	月		2コース (~15:40)	
25	火		2コース	
26	水	2コース		
27	木		2コース	
28	金			
29	土		2コース	
30	日			
10/1	月		2コース	11月分先着予約開始
2	火	休館日		
3	水	2コース	2コース	



**サービスラーニングを通して  
~逗子市役所との関わり~**

自分は、逗子高校で「サービスラーニング」を知り、興味を持ち、活動を始めました。サービスラーニングとは、学習とボランティアを組み合わせたものです。その活動の中で、逗子市役所の方々との繋がりは不可欠なものでした。

2011年3月11日、東日本大震災。あの日から一年がたとうとしていた高校3年生のある日、「このまま卒業して良いのか?」「自分達にできることは、ないのか?」そんな話を仲間たちとしていました。しかし、自分たちには何もできません。その思いを逗子市役所の方々に相談すると…「一緒にやろう!」と言ってくれたのです。この言葉に、どれだけ自分たちの思いが救われたでしょう。現地を見ていない自分たちに宮城県石巻市で活動しているNPO法人を紹介いただいたり、企画の内容を一緒に考えていただいたり。「ずし6万人のキャンドルナイト」は自分たちの想いをこめた企画でもありました。高校時代を語るのに、これらの活動はかかせません。想いを行動に移す方法を教えてくれ、仲間たちとの絆を確かなものにしてくれた逗子市役所の方々には、言葉では言い表せない感謝の気持ちでいっぱいです。

今後も、この逗子市でサービスラーニング活動を続けていきます。逗子市役所の方々をはじめ、地域の方々には、お力をお借りする場面が多々あると思います。その際は、よろしくお願いいたします。  
今よりも、もっともっと素敵な逗子市になりますように。

平山 智也 神奈川県立保健福祉大学 10期学生自治会 会長

逗子文化プラザ  
**市民交流センター**  
〒249-0006 神奈川県逗子市逗子 4-2-11  
TEL 046-872-3001  
FAX 046-872-3003  
kouryu@city.zushi.kanagawa.jp

**アフリカの市民協働!?**

この夏、タンザニアで、JICA(国際協力機構)によるODA(政府開発援助)の現場を見る機会がありました。

かつて、「ひもつき援助」(援助資金の大半が日本の企業に入る)と呼ばれ、高価な機材を導入しても現地でメンテナンスができず、すぐに役に立たなくなると批判されることの多かった日本のODAも、現在では、「住民参加型開発」が主流になっているようです。

日本のODAによって引かれた水道を、住民が「水委員会」を組織して運営している村を訪ねました。アフリカでは、安全な水の確保は、命に関わる問題です。350世帯の人々が共同で使う水道の蛇口を管理しているおじさんは、75歳。朝7時から夕方6時まで、蛇口のところにいて、水を汲みにくる人から代金を徴収しています。水の代金は20%のバケツ1杯が50シリング(約2.5円)。



↑村の水道

「水道料金をきちんと払っているから、2003年に水道ができてから今まで、水が止まったことは一度もない」と、村の人たちがとても誇らしげに話してくれました。



牛に荷物を曳かせる子ども達→

きのしたよしひと 市民協働コーディネーター 木下理仁

**ボランティアセンター(博)**

よろしくお願ひします!

8月1日よりボランティアセンター担当になりました赤塚です。

夫と大学生の息子、三毛猫の3人+1匹暮らしで休日はテニスを楽しんでいます。



逗子で生まれ、逗子で育ち、現在も逗子在住の私ですが、まだまだ逗子には知らない魅力がたくさんあると思いますので、ボランティア活動をされている皆様、ボランティアを必要とされている方々との新しい出会いの中で、多くの事を学ぶことにワクワクしています。お気軽に市民交流センター内ボランティアセンター相談窓口へお越しください。逗子への恩返しのため頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



開設日・時間: 月曜日~金曜日 9時~17時  
(交流センター休館日・祝日は除く)  
連絡先: 電話 046-873-8037  
FAX 046-872-2519  
Eメール vc@zushi-shakyo.com



**ご利用ください!**

**逗子市内で“最も情報が集まる場所”!?**

それは、交流センターの掲示板です。  
“センターの掲示板を見て新メンバーが来てくれた。”“こちらの掲示板で宣伝したおかげでイベントの来場者がたくさん集まった。”という声が受付に寄せられています。

**人と情報と幸運が集まる?! 掲示板**  
ぜひ、ご利用ください!

**利用案内**

- ①チラシ(A4で3枚)を受付にご持参ください。
- ②市民活動・生涯学習のものであるかを確認。  
(営利目的と判断した場合など、お断りさせていただきます。)
- ③原則、掲示期間は2週間。  
(スペースの関係上、市内の団体や行事が優先。市外のものとは短くなることもあります。ご了承願ひします。)



- ・専用使用がある時間帯は3コースのみの使用となります。
- ・小学校3年生以下は、保護者などの付添が必要です。(付添1人につき2人まで)



# \* \* VIVA! 20・30代♪ 小さなこと やってます♪ \* \*



浜の芸術祭実行委員会  
加藤 太一

ぜひ、遊びに  
きてください♪

## 「逗子ひとつにナール」



最近、逗子に魅力を感じる若者が増えてきています。自然豊かな環境で、人と人が温かくつながっている街。私もその一人、都会での仕事に疲れて帰ってきても、街が癒してくれました。(実際、逗子に来て持病も治りました)

逗子が大好きになり、逗子に恩返しをしたい、これからの逗子を自分が作っていきたい！そんな想いから、市民として逗子の街づくりに参加しています。それまでは、街づくりというのは、市役所の偉い人や政治家たちが作るものというイメージがありましたが、僕ら市民が作ってけるんだと感じるようになりました。

学生のころ立ち上げた焼きいもサークルから始まり、家具デザイナーとしてのプロモーション、異業種交流 BBQ イベントの運営、夕日フォトグラファーとしての活動などで培ったものを、逗子の街づくりにも活かしていければと考えています。

9/16 - 17  
(日) (祝)

11:00~20:00

会場：逗子海岸

## 浜の芸術祭

みんながアーティストになれる！  
子どもからお年寄りまで  
みんながひとつになって楽しめるものが作りたい！  
そんな想いから…  
「逗子ひとつにナール」！



## 一緒に復興支援をしませんか？



私は、「逗子災害ボランティアバスターズ」というグループに属しています。社会福祉協議会のボランティアバスツアーの参加経験者が集まり、自分たちで出来る事を出来る時に！と東北の復興を願い活動しています。重機ではなく手作業でしか出来ない瓦礫等の撤去や海岸の砂浜の清掃等、地道な活動ですが少しずつ前に向かって進んでいくお手伝いです。

「瓦礫はそこに住んでいた人の財産だったんだ」と、地元の人言葉に胸が痛くなります。3.11の震災から1年半近くが経とうとしていますが、まだまだ、もっともっと……。

また、他のボランティアの人たちや現地の人たちと協力したり、会話することで人と人の繋がり・絆を体感し、その心を大切にしていきたいと思っています。



菖蒲田浜地区  
海岸復旧プロジェクト



参加理由は達成感・自己満足感・婚活でも何でもOK！(笑)一緒に復興支援をしませんか？

山上 諒

連絡先：  
090-4713-9763(代表 菅野)



七ヶ浜ボランティアセンター



七ヶ浜町吉田浜地区 農地復活プロジェクト



お疲れ様会

## 学習支援活動団体 CoCoLo(ココロ)の会



### ★勉強だけでなく心も育てる

CoCoLoの会では、勉強だけではなく、子ども達の長所を丁寧に伸ばして、夢を叶える自信と力を育てる教育を行っています。「できること」に焦点を当てながら指導することで、子ども達に笑顔が生まれます。勉強の中から心も育てる工夫もたくさんしています。

### ★褒め育てのゆめわくっ！効果

勉強を離れた場所でも、子ども達の長所を発掘。“ゆめわくっ！”では、子ども達がやりたいことを一緒に計画を立て、実現させながら「できる！」を積み重ね「自信」を育てています。大人と子どもが、一緒にわくわく楽しく過ごす空間から、夢が生まれ、育っています。

### ★理想の全人教育

勉強以外の長所も見つけ、褒め、自信を育て、それが結果的に学習向上にもつながるという私の目指していた「全人教育」の形が、今実現できているのは、関わってくださる多くの方々のおかげです。これからも多くの人との出会いに感謝しながら、自分自身もキラキラ輝きながら、子ども達と共に夢を育てていきたいです。



代表 吉原 千草

10月20日(土)には、フルーツを芸術作品にするイベント、3月にはファッションショーも行います。逗子に広がる海のような「でっかい」子どもを育てませんか。

課外活動「ゆめわくっ！」の情報

「ゆめわくっ！」で検索 <http://ameblo.jp/yumewaku-zushi/>



かわいい CoCoLo の会の子ども達



夢を形にしている  
紗良ちゃん  
(さざなみホール  
2012.6.8)

## 「team逗子30'sプロジェクト」



30代の市民を対象とした「逗子30'sプロジェクト 30代だヨ！全員集合！」この企画は、まちづくりに関心がありながらも、なかなかその機会を持っていない30代同士が繋がり、自分達の住むまちの事をより深く知り、将来の市民参加への導入となるような活動を、企画・運営も含め同世代でやろうとスタートしました。



久保田 裕

市の「ふれあい活動圏創成事業」の一環である「まちづくりの担い手育成講座」と位置づけられていますが、運営側も同世代のためか、講座というよりは仲間と繋がるイベントのように一緒に参加するという感覚を持っています。

講座は、全3回。回を追うごとに自分たちの興味・関心のあるテーマについての認識を深め、問題意識とそれに対する活動を自分たち自身で考える事を目指すように構成。さらにその後フォーラムとして講座での成果を発表する予定です。

### 仲間募集中！

②9/8(土)

③10/6(土)

いずれも 15:30~17:30

申・問：市民協働課へ



2回目以降も是非ご注目ください！

1回目は、8/4に開催。市内で面白い活動をしている同世代の市民を講師として招いたのですが、やはり自分たちに近い人の話は刺激になったようで、その後の懇親会でも非常に前向きな発言が多く聞かれました。まさに「他人ごと」ではなく「自分ごと」として認識することができたのではないのでしょうか。